



2025
10
No.883

TOPICS

- 青少年国際交流事業 ～智頭中学生11人が韓国楊口郡を訪問しました～…… 2P
- 五月田かんがえ地蔵まつり…… 裏表紙

2025年 楊口郡 - 智頭町 文化交流會 2025년 양구군 치즈정 문화교류회
2025年 8月 5日(月) 9:00 石泉中學校



今月の表紙

青少年国際交流事業 ～智頭中学生11人が韓国楊口郡を訪問しました～



the most beautiful
villages
in japan

智頭町は
「日本で最も美しい村連合」
に加盟しています。



県内各地の 木のおもちゃが大集合！ 木育まつり

8月10日(日)
ほのぼの ひだまりホール



幼い頃から木に触れ、親しみを持ってもらうことを目的に、ほのぼの ひだまりホールで「木育まつり」を開催しました。

県内各地から集められた大小15種類のおもちゃが並び、町内外から訪れた138人が木の感触やぬくもりを確かめながら遊びました。

ワークショップコーナーでは、智頭杉の箸づくり、木と金属をこすり合わせるバードコールづくり、ロープワーク体験などがあり、保護者も一緒に楽しんでいました。



本町では、町内在住家庭の赤ちゃん誕生記念に、「ウッドスタート」として智頭杉を使った木のおもちゃを贈呈しています。

今年度は、木育まつりの開催と併せて「木のおもちゃ贈呈式」を行い、令和7年1月1日から5月31日までに生まれたお子さんのうち代表の1人に智頭の地図(智頭杉の積み木)を贈呈しました。

本町は平成29年3月3日に、鳥取県で初めての「ウッドスタート宣言」をしました。

青少年国際交流事業 智頭中学生11人が韓国楊口郡を訪問しました



韓国楊口郡と智頭町は、平成11年に友好交流協定を結び、昨年度は6年ぶりに韓国訪問団を受け入れました。本年度は、智頭中学生11人が8月4日(月)～7日(木)の4日間で楊口郡を訪問し、楊口郡の中学生と文化体験等の交流を通じて友情を深めました。楊口郡の石泉中学校での歓迎会では、全員が韓国語で自己紹介し、3年生の代表生徒が、智頭町や智頭中学校の紹介スライドを共通言語である英語で紹介しました。楊口郡の文化に触れ、異なる生活や文化体験を通し、心の豊かさや相互理解を深めることができた貴重な交流となりました。

生徒の感想



2年生 古谷 たねさん

この交流を通して、韓国の文化、人の優しさに直接触れることができ、日本にいただけでは得られない経験ができました。日本と韓国、それぞれの国に良さがあり、違いを知れて世界に対する見方が変わりました。昨年の交流よりもたくさんの人と会話ができて、教育委員会が開いてくださった韓国語講座で学んだことを実際に使うことができ、成長を実感できる交流となりました。この体験は私にとって一生の宝物になりました。今回学んだことを生かして来年の交流にも参加できたらなと思いました。

3年生 古谷 蛍さん

文化の違いを知ることとはとても面白く、自分の町や日本の良さを改めて考えるきっかけにもなりました。この経験から学んだのは、相手を理解しようとする気持ちや違いを受け入れる姿勢の大切さです。今後の生活では、学校や地域での人との関わりの中でも、相手を思いやり、積極的にコミュニケーションをとることを意識していきたいと思っています。

3年生 森 たま子さん

今回の日韓交流を通して、同じアジアでも文化や価値観に細かな違いがあることを実感しました。言語や文化の壁があっても、共通の目標や楽しみを見つければ協力することはできます。そしてその協力に必要なのは完璧な言語能力ではなく、相手を理解しようとする姿勢だと思います。これからの生活では、初めて出会う人や環境に積極的に飛び込み、自分の世界を広げていきたいと思っています。

7/22 鳥取県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞!



市町村国保運営協議会の委員として10年以上在任し功労があったとして、智頭町国民健康保険運営協議会会長の西尾和彦さんが、鳥取県国民健康保険団体連合会理事長表彰を受賞されました。また、鳥取県国民健康保険団体連合会における長きにわたる功労から金児英夫町長も表彰されました。

令和7年度 コミュニティ助成事業が 実施されました



地域住民のコミュニティ活動の健全な発展と宝くじの普及を図るため、(一財)自治総合センターが行っている「コミュニティ助成事業」の宝くじの助成金を活用して、上市場町内会がエアコン、テーブル、クリーンボックス等の備品を整備しました。

本助成は、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじ受託事業収入を財源として実施している事業です。この度の備品整備により、コミュニティ活動が活発となるとともに、美化環境が向上し、さらなる地域活性化が期待されます。

令和7年度 ちびっ子河川パトロール隊 結成式



8月9日(土)、西谷親水公園を会場に「ちびっ子河川パトロール隊結成式」が開催されました。

天候に恵まれた当日は27人の小学生パトロール隊員が参加、八頭県土整備事務所職員を講師に川の成り立ちなどを学んだ後、白坪川で魚のつかみ取り、バーベキュー、ビンゴゲームを楽しみました。

清流でのヤマメのつかみ取りでは、懸命に魚を追う姿が印象的で、魚と格闘する隊員たちからは大歓声が上がっていました。

8/25 東京2025デフリンピックの キャラバンカーが智頭町に!



“きこえない・きこえにくい人”のオリンピック「デフリンピック」が今年の11月に東京で開催されます。その広報として、キャラバンカーが智頭町役場を訪れました。

この大会は1924年にフランスのパリで開催され、今年で記念すべき100周年を迎えます。鳥取県聴覚障害者協会の下垣彰則理事長が手話で「キャラバン活動を通じてこの大会の認知度が上がっている。引き続きPRを行い、更なる認知度向上を目指していきたい」との思いを述べられました。

CHiPs Report 第3回 “一緒に創る”智頭の恵みの味わい



▲地域のお子様にも実食いただきました!



▲お祭り当日の様子

8月23日(土)、那岐地区で開催された「かんがえ地蔵まつり」に、CHiPsメンバーが出店しました。今回は、いざなぎ振興協議会の皆様の協力のもと、智頭米を使った機能性おにぎりの試作品を販売。食べやすさと栄養価(タンパク質・食物繊維)を意識し、お子様向けに一口サイズで作りました。

ありがたいことに、用意したおにぎりはすべて完売。「美味しかったよ」と声をかけてくださる人もあり、チームの気持ちはさらに高まりました。

今回の大きな収穫は、地域で育ったお米を活かしたことでありませぬ。「地域の人と一緒に作れた」という実感です。CHiPsメンバーにとって、智頭町の人々に受け入れられ、共に新しい挑戦に取り組めることは何よりの喜び。こうしてCHiPsらしい前進を一步步重ねていきます。

CHiPs Audition 2025 応募受付中!

応募締め切り 10月5日(日)

智頭町で新しい事業に挑戦したい人を募集しています。経験や地域との関わりは問いません。自分のアイデアを形にしたい人、地域と一緒に挑戦してみたい人の応募をお待ちしています。応募は右のQRコードから!



参加者インタビュー

「智頭の味と、町のあたたかさを、 おにぎりにぎゅっと。」



小林 敬介さん

ソイコム株式会社 代表取締役

東京都在住で『ソイコム株式会社』代表取締役の小林敬介さんは、大豆を使った低糖質のパンやパスタを手掛けてきた食品開発のプロ。その経験を“智頭町の魅力を生かした形で役立てたい”と、CHiPs Auditionに応募しました。

小林さんが手がけるのは、智頭米や地元素材を活かした機能性おにぎり。健康志向をテーマに、子どもからお年寄りまで親しみやすい形で商品化を目指しています。

8月の試作品販売を終えて、「今回は短い滞在でしたが、町の人々と顔を合わせ、お話を伺えたのは非常に有意義でした。現場での経験や皆さんとの協業で、情報量も理解もぐっと深まります」と小林さん。まだ構想段階のプロジェクトですが、町の人と直接やり取りしながら進めることで、地域に根ざした新しい挑戦が少しずつ形になってきています。

各集落で「いきいき百歳なっても元気に過ごすための体操
(通称：いきいき百歳体操)」に取り組んでみませんか

智頭町では、平成28年度から、高知市で考案された「いきいき百歳体操」を開始し、現在、森のミニ
デイ6か所と15の集落で実施しています。

「いきいき百歳体操」は元気な人から、要介護3程度の人まで幅広い対象者が一緒に参加でき、週1
～2回行うことで、筋力アップ等に効果があるとされています。智頭町でも、50代～90代と幅広い年
齢層の人が取り組んでいます。



【やり方】

椅子に座って、DVDを見ながら、手足におもりを付
けて体操します。おもりは200g単位で調整ができる
ため、一人ひとりの体力に応じて無理なく効果的に行
うことができます。

また、年に1回体力測定と、年2回理学療法士による
実施状況確認と指導を行っています。

体力測定では「ロコタス」というシステムを使用し、
各個人の測定結果に合わせて処方されたおすすめ体
操をその場でお渡しします。

理学療法士の指導では、より効果的な体操方法や、
各個人の足腰の痛みなどに応じて無理なくできる方法
などを具体的に指導します。

百歳体操の取り組みのポイント！！

- ◎ 筋力がつき、動作が楽になる
- ◎ 一人ではなく集団で行うことで、他者と交流し
ながら、楽しく続けられる

- 週1回以上、集落単位での取り組みが原則
- おもり、DVDディスクは地域包括支援センター
が提供
- 背もたれのある椅子、テレビ、DVDプレイヤーと
体操できるスペースが必要
- 備品については補助金制度もあり

体操が目的ではなく、みんなと集まって体操したり、
おしゃべりしたりすることが目的です。

体操ができなくても、みんなで顔を合わせて一緒に
取り組むことで元気な100歳を目指しましょう！！

実施集落	曜 日
五月田	火・金
米 原	木
八 河 谷	木
下 西	火
坂 原	火
新 見	土
中 田	月
惣 地	火
下 町 ★見学可能	月・木
木 原	火
野 原	月
中 町	月
沖 代	木
新 田	土
本 折	水
森のミニデイ6箇所	
合 計	21箇所
※令和7年8月現在	

参加者の声

- 坂道や階段の上り下りが楽になった
- つまずかなくなった
- 足腰の痛みが軽減した
- 代表者は数人で行うと楽に運営できた
- 体操も全部はできんけど、週に1回みんなの
中にきておしゃべりするのが楽しい
- 90代の人元気な姿をみると自分も頑張ろ
うと思う。こんなふうに元気に歳がとりたい

秋の横瀬溪谷 ～森林セラピー×アロマ抽出体験～



森林セラピーロード「横瀬溪谷コース」は、清
流の音を聞きながら杉林を歩きます。車椅子でも
侵入できる舗装路がある福祉森林セラピーロー
ドが特徴です。紅葉シーズンに当たる11月中旬は
コース内のモミジが黄色く紅葉します。

今回は一般社団法人山郷地区振興協議会主催
で横瀬溪谷の森林セラピーと、山郷地区で採れた
クロモジを使ったアロマ抽出体験を行います。

- 【日時】11月8日(土) 午前9時～午後3時
- 【講師】智頭町森のガイド
- 【定員】18人程度(先着順)
- 【参加費】大 人 1,500円
子ども(小学生以下) 1,000円
※昼食代・保険料含む

【期限】10月31日(金)まで
※悪天候の場合等、講座を中止又は内容を変更する場合
があります。

申込み・問合せ (一社) 山郷地区振興協議会 林 ☎75-0221

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症の予防接種を受けよう！

10月1日からインフルエンザ予防接種・新型コロナウイルス感染症予防接種事業を開始します。接
種期間は10月1日～12月31日まで(原則)です。

本年度の助成の対象者及び助成額は別表①・②のとおりです。

- 重症化予防を目的として、希望される対象
者へ実施します。
- 13歳未満のお子さまのインフルエンザ
予防接種に関しては、2回接種が基本で
す。また、13歳以上の人についても基礎
疾患・免疫がつきにくいなど医師の判断
で2回接種が必要となる場合があります。
詳しくは個別通知の内容を確認後、かか
りつけ医に相談してください。
- 個別通知は9月末の予定です。
郵送には時差が生じることもありますの
でご了承ください。令和7年10月中旬～
12月に満65歳を迎える人は誕生日が近
づく頃に個別通知します。
※必ず満65歳になってから受けてください。

接 種 場 所
鳥取県東部の予防接種協力医療機関
接種の際は事前に医療機関に予約してください。
※医療機関によって予防接種の開始・終了時期が異なります。

別表① インフルエンザ予防接種対象者及び助成額

対 象 者		助 成 額	自 己 負 担 額
① 満65歳以上の人	①、②のうち 非課税世帯の人	4,340円	な し
② 満60歳以上 65歳未満で 一定の障がい のある人	①、②のうち 課税世帯の人	2,840円	1,500円
③ 1歳以上13歳未満の児童		1回につき 3,000円	各医療機関の接種費 用額から3,000円 をひいた額
④ 生活保護受給者(1回目)		4,340円	な し
⑤ 生活保護受給者(2回目)		3,440円	な し

別表② 新型コロナワクチン予防接種対象者及び助成額

対 象 者		助 成 額	自 己 負 担 額
① 満65歳以上の人	①、②のうち 非課税世帯の人	14,840円	な し
② 満60歳以上65歳未満で一定の障がいのある人		12,840円	2,000円

問合せ先 保健センター福祉課 ☎75-4101

10月

～食品ロス削減月間～ 10月30日は「食品ロス削減の日」

日本では、本来食べられるのに捨ててしまう食品＝食品ロスが、年間464万トン(令和5年度推計)発生しています。日本人の1人当たりの食品ロスは、1年で約37kgになります。

飢餓や栄養不足に苦しんでいる国や人々がたくさんいます。日本でも7人に1人の子どもが十分に食べることができていないなど、食の支援を必要としている状況にあります。また、貧困だけではなく、大量の食品ロスはごみ処理等環境問題にも影響します。食品ロスの半分は家庭から発生しています。食べるものを大切に、無駄なく消費しましょう。

食品ロスを減らそう！



“食品ロス削減”のためにあなたにもできること

買い物をするとき

- 必要な分だけ購入する
- すぐに食べるような商品は、手前のもの(賞味期限の近いもの)から購入する

調理をするとき

- 食べられる分だけ作る
- 食材にあった保存方法で、長持ちさせる工夫を行う

外食をするとき

- 食べきれない量を注文する
- 苦手な食べ物が入っていないかを事前にチェックする
- 「30・10運動」を心がける
※ 宴会や会食などで、最初の30分と最後の10分は料理を楽しんで食べ残しを減らそうという運動

問合せ先

保健センター福祉課

☎ 75-4101

ピンクリボン月間

～10月は乳がん月間です～

ピンクリボン月間は、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを考えるためのキャンペーンです。

乳がんを早期発見するために・・・



1. 乳がん検診を受ける

乳がんを早期発見する有効な方法は、2年に1回の乳がん検診です。マンモグラフィという専用の装置を使って、レントゲン撮影を行います。今年度偶数年齢になる40歳以上の女性が対象です。今年度の乳がん検診をまだ受けていない人は、ぜひ受診しましょう。



2. 自己触診をする

月に1度程度、自己触診をしてみると、乳房の変化に気づきやすくなります。

- 鏡をみて乳房のくぼみ、ひきつれ、ただれがないかを確認する
- 乳房をまんべんなく、指先をすべらせるように触って、しこりなどがないかを確認する
- 乳頭を軽くつまみ、分泌物がないかを確認する

問合せ先

保健センター福祉課

☎ 75-4101

智頭病院だより

成人の8人に1人？

CKD(慢性腎臓病)とは

内科医師 岡本 尚

CKD(慢性腎臓病)は、近年よく耳にする単語だと思えます。腎臓は体の中に二つあり、大きさは約8～10cmで、握り拳大ほど。血液をろ過して、老廃物を尿として排出し、体内の水分や塩分のバランスを保つ大切な臓器です。ただし、障害が進行しても自覚症状がほとんどないため、気づかないうちに重症化してしまうことが少なくありません。その代表がCKDです。日本では成人の約8人に1人と言われています。これは日本人のおおよそ1300万人に相当し、糖尿病や高血圧と並ぶ「国民病」とも呼ばれています。

ここで腎臓の主な働きについて、紹介します。

【腎臓の役割3つ】

1 老廃物の排泄
体内で生じた不要物や毒素を尿にして排出します。

2 体液バランスの調整
水分、ミネラル(ナトリウムやカリウムなど)を調整し、血圧や体内環境を一定に保ちます。

3 ホルモン産生
赤血球を作るエリスロポエチンや、骨の健康に関わるビタミンD活性化を担います。

【CKD(慢性腎臓病)とは】

CKDとは「3か月以上にわたる腎機能が低下した状態」を指します。腎臓のろ過機能を示すeGFR(簡単に言うと、腎臓の点数)という指標が60未満に下がる、あるいは蛋白尿が持続する場合に診断されます。

糖尿病や高血圧、動脈硬化などが原因で発症することが多く、初期はほとんど自覚症状がないため、検診での尿検査や血液検査で初めて異常が分かることが多いです。進行すると、むくみ、貧血、だるさなどが出現し、さらに進むと透析治療が必要となります。腎機能は一度低下すると回復が難しいため、早期発見・対策がとても大切です。

【検査と予防】

外来で行う尿検査(蛋白尿、血尿の有無)や血液検査(クレアチニン値、eGFR)が基本です。腹部エコー検査で腎臓の形を確認することもあります。進行予防のためには、次のような対策があります。

- 塩分を控える
(1日6g未満を目安に)
- 規則正しい生活と適度な運動
- 糖尿病や高血圧の管理
- 喫煙、過度の飲酒を避ける

CKDは気づかぬうちに進行し、生活の質を大きく損なう可能性があります。しかし、定期的な検査と生活習慣の改善で予防や進行抑制が可能です。「自分は大丈夫」と思わず、健康診断を活用して早期に異常を見つけることが、腎臓を守る第一歩です。



読書の秋、図書館イベント開催！

10月27日から11月9日は秋の読書週間です。今年の標語は「こことあたまの、深呼吸」です。ちづ図書館でも、読書の秋に合わせてイベントを開催します。

◆◆◆◆◆

【図書館スタンプラリー】

◆期間 11月4日(火)

～23日(日)

本を1冊借りるごとにスタンプを押します。スタンプを10個集めて景品を当てよう！

「ブックリサイクル」

◆期間 10月25日(土)

～11月9日(日)

◆場所 ちえの森ちづ図書館
つどいの部屋

保管期限の過ぎた図書館の本、雑誌から気に入ったものがありましたら、無料でお持ち帰りができます。

「本から生まれた手づくり作品展」

作品募集！

図書館の本を参考にして作った手芸作品や工作などの手づくり作品を募集しています。あなたの手づくり作品を図書館で展示しませんか？

◆募集期間 10月1日(水)

～10月26日(日)

◆持込場所 ちえの森ちづ図書館
カウンター

◆展示期間 11月中

※作品は展示期間終了後、お返しします。



昨年度の展示作品

参加してみませんか？

あたまイキイキ音読教室

◆日時 10月10日(金)

午前10時30分～11時15分

◆場所 ちえの森ちづ図書館
つどいの部屋

※健康ポイントーポイント付与

今月のおはなし会

あかちゃんから楽しめるおはなし会です。

◆日時 10月12日(日)

午前10時30分～11時

◆日時 10月24日(金)

午前10時～10時30分

◆場所 ちえの森ちづ図書館
おはなしの部屋

〈秋のおはなし会〉

季節の楽しい絵本の読み聞かせや手遊びをするおはなし会にぜひ参加ください。おはなし会のあとに、工作もします。

◆日時 10月26日(日)

午前10時30分～11時30分

◆場所 ちえの森ちづ図書館
つどいの部屋

新着図書（一般書）

・鋼鉄の城塞 ヤマトブジシンスイス
・翠雨の人
・酒亭DARKNESS
・トットあした
・暦のしずく
・烈風を斬れ
・行先は未定です
・記憶にありません。記憶力もありません。
・バンクハザードによろこ
・マスカレード・ライフ

伊東 潤
伊与 新
恩田 陸
黒柳 徹子
沢木 耕太郎
砂原 浩太郎
谷川 俊太郎
土屋 賢二
中山 七里
東野 圭吾

新着図書（児童書）

・細胞って何だろう？
・ゆびでたどる進化のえほん
・ジョナサンいいかげんにして！
・白さぎ

小林 武彦 監修
三上 智之
ウィリアム・コール
セアラ・オーン・ジュエット
その他多数

問合せ先 ちえの森ちづ図書館 ☎75-4123



2025サマーキャンプ

in県立大山青年の家

智頭町青少年育成推進指導員協議会主催のサマーキャンプを、鳥取県立大山青年の家に於て8月1日(金)から3日(日)に実施しました。

小学3年生から6年生の19人の児童が参加し、谷川探検やキャンプファイヤー、野外炊飯、クラブ体験など、日常では体験できないことにたくさんチャレンジしました。「来年もまたキャンプに参加したい」「次からなんでもチャレンジできそうな自信がわいてきた」と、子供自身が自分の成長を実感できる3日間を過ごすことができました。

来年も楽しいサマーキャンプを企画しますので多くの皆さんの参加をお待ちしています。



バームクーヘン作りに挑戦！



全員揃って「はいチーズ！」



谷川探検レッツゴー！

第2回智頭町公民館納涼祭

開催

7月26日(土)総合センター駐車場周辺で、智頭町公民館納涼祭が開催されました。これは昨年度、「智頭町全体のお祭りがあったらいいなあ」という智頭中学生の発案がきっかけとなり、今年度で第2回目の開催に至ります。

会場には浴衣や甚平を着た子供たちがたくさん来場し、プレゼントをもらったり、短冊に願い事を書いて用意された大きな笹竹に飾ったりしていました。

おいしい食べものを頬張りながら、金魚すくいやヨーヨーつりなどを楽しむ大勢の人々で大いに盛り上がりしました。



会場は子供たちで大賑わい♪

夏休みおやつ作り教室開催！

7月25日(金)保健センターほのぼの内栄養指導室で、小学生を対象に夏休みおやつ作り教室を開催し、午前午後合わせて18人の子供たちが参加しました。

智頭町学校給食センターの調理員による指導のもと「さくさくメロパイ」と「バナナパンケーキ」を作りました。上級生が1年生にそつと手助けをするなど、それぞれ協力して作ったおやつが出来栄に大満足の様子でした。調理員手づくりのミルクシェイクと一緒に完成したおやつをおいしくいただきました。



みんなで協力！



申込み・問合せ先 役場教育課（総合センター） ☎75-3113・3114

ひきこもり家族教室のお知らせ

家族同士の交流を通して、ひきこもりについての理解を深めてみませんか。

※予約不要 ※個別相談にも応じます

- 【日時】 10月28日(火)
(受付)午前9時45分～
(開始)午前10時～正午
- 【場所】 さわやか会館3階第2研修室
(鳥取市富安2丁目96)
- 【対象者】 ひきこもり状態にある人の家族
(本人以外)
- 【問合せ先】 鳥取市保健所 保健医療課
☎0857-22-5616



東部ハートフルスペースをご存じですか？

～中学校卒業後の青少年の悩みに寄り添い、
学校復帰や社会参加・自立を応援します～

不登校傾向の高校生や家庭で悩んでいる20歳くらいまでの不登校(傾向)、ひきこもりの心配のある青少年とその家族や関係者の相談に応じています。気軽に相談ください。

- 【日時】 10月21日(火)
午後2時～4時まで
※10月20日(月)までに要予約
- 【場所】 智頭町保健・医療・福祉総合センター
「ほのぼの」相談室
- ※相談料はかかりません。
※秘密は厳守されますので安心ください。

- 【予約・問合せ先】
鳥取県教育支援センター
東部ハートフルスペース
☎0857-28-2388



相談

アルコール・薬物・ギャンブル等 家族教室・専門相談

参加者同士の話し合いを通じて、家族自身がゆとりをもって自分らしく過ごしていけることを目指しています。

- 【家族教室】
- 【対象者】 家族の飲酒・薬物・ギャンブル等
でお困りの人(本人以外)
- 【日時】 10月10日(金)
午後1時30分～3時
- 【場所】 さわやか会館3階第2研修室
(鳥取市富安2丁目96)
- 【講師】 渡辺病院
精神科医師 山下 陽三氏
精神保健福祉士 岩岸 直美氏

- 【専門相談】
- 【対象者】 アルコール・薬物・ギャンブル等の
問題でお困りの人。本人・家族だけでなく
関係者からの相談も可。
- 【日時】 10月10日(金)
午後3時～4時
- 【場所】 さわやか会館3階第1研修室
(鳥取市富安2丁目96)
- 【相談担当】 渡辺病院
精神科医師 山下 陽三氏
精神保健福祉士 岩岸 直美氏

※要予約：2日前まで ※1人30分

- 【予約・問合せ先】
鳥取市保健所 保健医療課
☎0857-22-5616

精神障がい者家族相談ダイヤル のお知らせ

家族のための無料電話相談です。(通話料は
かかりません) ※匿名可能・秘密厳守

- 【10月の相談日時】
10月2日(木)、16日(木) 午後1時～4時
- 【相談専用ダイヤル】 ☎090-3880-3498

- 【問合せ先】
鳥取県精神障害者家族会連合会事務局
☎0857-21-3031

10月に実施する集団健(検)診

健康への第1歩は今の自分の体の状態を知ることです。その方法として、本町では集団健診を実施しています。生活習慣病の多くは、自覚症状無く進行しますので、年に1度は健診を受け、必要な場合は早く治療を受けましょう。

10月の集団健診は下記のとおりです。

10月の集団健(検)診 ★要予約

- 【持ち物】
マイナンバーカード保険証又は資格確認書、
各受診券、お持ちの人はお薬手帳
- 【月日】 10月9日(木)
- 【受付時間】 午前8時30分～10時30分
- 【場所】 総合センター
- 【内容】 特定・後期高齢者健診(定員70人)
胃がん検診(バリウム、定員40人)
結核・肺がん検診、大腸がん検診
子宮がん検診(定員50人)
乳がん検診(定員35人)
骨密度検査、肝炎ウイルス検査
- 【予約・問合せ先】
保健センター福祉課 ☎75-4101

～大切なご家族を自死で亡くされた人へ～「家族の集い」

この会は、とっとり自死遺族自助グループ「コスモスの会」の協力により開催しています。

大切な家族を自死で亡くされた人が集い、安心して語り合い、気持ちを分かち合う会です。

- 【日時】 10月7日(火)
午後2時～3時30分
- 【場所】 鳥取市さざんか会館
(鳥取市富安2-104-2)

※事前申込不要
※匿名での参加も可能です。
※他の人の話を聴くだけでもかまいません。

- 【問合せ先】 鳥取県立精神保健福祉センター
☎0857-21-3031

お知らせ

食品の調理、販売等を行う皆様へ 無許可営業に注意ください

業として食品の調理、加工、製造、販売等を行う場合、必要な許可を取得または届出をしていただく必要があります。

また、営業場所を移転し、許可を取得しないうちに営業を行った場合も、無許可営業となりますので、ご注意ください。

許可、届出が必要な業種は、鳥取市ホームページをご覧ください。



鳥取市ホームページ

- 【問合せ先】 鳥取市保健所生活安全課
☎0857-30-8552

大規模災害を想定した消防訓練 に智頭町消防団が参加します！

11月1日(土)・2日(日)、鳥取県に中国、四国地方9県と近隣府県の緊急消防援助隊と消防防災ヘリコプターが一堂に集結し、大規模災害を想定した消防訓練を実施します。

今回の訓練には、智頭町消防団も参加し、万一の災害に備え、消防職員と消防団員が一体となって訓練に取り組み、実践に即した内容で行います。

地域を守る団員が連携して訓練に取り組む姿を、ぜひご覧ください。

日程	訓練会場	主な訓練内容
11/1 土	湖山池青島公園 (鳥取市高住) 午後1時～4時	漂流者救出訓練 など
	殿ダム周辺広場 (鳥取市国府町) 午後1時～4時	滑落事故救出訓練 など
11/2 日	リンピアいなば (鳥取市河原町) 午前8時～正午	大規模土砂災害 救出訓練 など

※各会場に無料駐車場あり(駐車台数に限りがあります。)

- 【問合せ先】 東部消防局警防課
☎0857-23-2303



茨城県出身。宮城県の大学で観光まちづくり学を専攻。出会った智頭町の人々のあたたかさに心を動かされ、卒業と同時に移住。現在は地域おこし協力隊として、毎日奮闘中。智頭町が誰かにとっての「第二の故郷」となるような、心温まる場所をつくりたい。その想いを胸に、地域の皆さんと共に力を合わせ、日々活動を行っています。

智頭で広がる居場所

秋といえば「収穫の秋」や「読書の秋」といいますが、私にとっては「活動の秋」になっています。智頭町で暮らし始めてから、気がつけば毎日の予定がどんどん増えてきました。協力隊の活動に加え、智頭FCでのサッカーコーチ、しゃんしゃん傘踊りの練習、野菜の収穫やお店の営業など、地域の皆さんと一緒に過ごす時間が本当に多くなっています。最初は「うまくできるかな」と不安もありましたが、今では「今日も一緒にやろう!」と声をかけてもらえるようになり、とても嬉しく感じています。

日が落ちるのが早くなり、秋の夜長を感じる季節になりました。昼間は地域の活動や仕事で慌ただしく過ぎていきますが、夜、ふと空を見上げると、智頭の澄んだ星空が広がり、心がすっと落ち着きます。少し忙しい毎日ですが、町の皆さんと一緒に時間を過ごせるからこそ、とても充実しています。智頭町での秋の暮らしを味わいながら、これからも地域にしっかりと根を張って活動していきたいと思っています。



How your town's ALT gets hired!

あなたの町のALT(外国語指導助手)はどうやって採用されるのか!

Assistant Language Teachers (ALTs) can be hired in different ways. Many are hired directly by the Japanese government through the JET Programme. The JET Programme invited people from around the world to participate in international exchanges in Japan and to be involved in foreign language education in schools.

The JET Programme application has two main stages: document submission and an interview.

First, the Embassy of Japan in each country posts announcements online when applications open. In the first stage, applicants collect and submit many documents to the embassy. One of the most important documents is an essay explaining why we want to come to Japan and why we want to become an ALT.

Second, after submitting, we wait until around January to know if our application passed. The next stage is the interview, which usually takes place in February. In the Philippines, candidates also have to give a short teaching demonstration.

Finally, the successful candidates leave for Japan at the end of July. ALTs in the JET Programme do not choose where they go so it is always a surprise! I am very happy and thankful that my home in Japan is here with you, where the people have a kind heart and the nature and scenery is very beautiful.

外国語指導助手(ALT)の採用方法は様々です。多くは、JETプログラムを通じて日本政府に直接採用されています。JETプログラムは、世界中から日本に来たALTを招き、日本での国際交流や学校での外国語教育に携わってもらうことを目的としています。

JETプログラムの応募は、主に書類提出と面接の2段階に分かれています。

まず、各国の日本大使館は、応募受付開始時にオンラインで告知します。

第一段階では、応募者は多くの書類を集め、大使館に提出します。最も重要な書類の一つは、なぜ日本に来たいのか、そしてなぜALTになりたいのかを説明したエッセイです。

第二段階として、提出後、1月頃まで応募が通るかどうかを待ちます。次の段階は面接で、通常2月に行われます。フィリピンでは、応募者は短い教育実演も行う必要があります。

最後に、合格者は7月末に日本へ出発します。JETプログラムのALTは行き先を選べないので、いつもサプライズです!皆さんが親切な心を持ち、自然と景色がとても美しいこの町で、日本での私の故郷がここにあることをとても嬉しく、感謝しています。

困ったら一人で悩まず 行政相談

9月と10月は「行政相談月間」です。

行政相談は、国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進するとともに、行政の制度や運営の改善に生かす仕組みです。相談は無料で、秘密は固く守られます。行政やくらしの困りごとについて、気軽に相談ください。

10月の日程

- ①【日時】10月4日(土)
午前9時30分～11時
【場所】ちえの森ちづ図書館
- ②【日時】10月7日(火)
午前9時～10時30分
【場所】土師地区公民館
- ③【日時】10月11日(土)
午前10時～午後1時
【場所】ほのぼのフェスタ相談ブース
- ④【日時】10月21日(火)
午前9時30分～11時30分
【場所】ちえの森ちづ図書館



智頭町の行政相談委員は安住博幸さんです。身近な相談相手としてお声がけください。

【問合せ先】役場総務課 ☎75-4111

お知らせ

山林に関する無料相談会

智頭町の山や暮らしに関する相談に、幅広く応じます。内容によっては適切な機関や人に繋ぐこともできますので、まずは気軽に相談してください。

相談例

山林の管理や相続に関する相談、住宅近くの危険木、薪の入手情報、林業従事希望者の山林案内、チェーンソーの使い方を習いたい。

日時

10月 4日(土) 午前10時～正午
11月13日(木) 午後3時～5時
12月 6日(土) 午前10時～正午
1月 8日(木) 午後3時～5時
2月 7日(土) 午後10時～正午

場所

シェアオフィスTAMARIBA(智頭町智頭1820-27)
駐車場有、智頭駅から徒歩2分

【問合せ先】合同会社MANABIYA
☎080-3428-1327



麒麟のまち インフォメーション

第41回 新温泉町

「上山高原」で出会う秋の絶景

新温泉町の「上山高原」は、標高約900mに広がる雄大な高原地帯です。秋になると一面にススキの大草原が広がり、銀色に輝く穂波が風に揺れる景色はまさに圧巻。爽やかな空気とともに、訪れる人の心をやさしく癒してくれます。高原一帯には遊歩道も整備されており、散策しながら季節ごとに移ろう自然を身近に感じることができます。

「上山高原」を含む地域一帯の自然保全活動などを実施している上山高原エコミュージアムでは、10月19日(日)開催予定の「秋のエコフェスタ」をはじめ、自然に触れながら楽しめるイベントを用意しています。

秋の上山高原でしか味わえない感動と体験を、ぜひ家族や友人とともに楽しみください。



上山高原エコミュージアム

(上山高原ふるさと館: 新温泉町石橋757-1)

【開館時間】午前9時～午後5時
【休館日】火曜日
【入館料】無料
【問合せ】☎(0796)99-4600



次回、香美町へ!

人の動き

令和7年9月1日現在（前月比）

世帯数 2,628世帯（-3世帯）

人口 5,999人（-11人）

女 3,196人（-7人）

男 2,803人（-4人）

お誕生おめでとう

ところ	な	ま	え	保護者	誕生日
野原	松村	すい 翠	ちゃん	陽平さん 典子さん	7/20

ごめい福をお祈りします

栃本	竹下	皓三さん	91歳
大屋	福安	あけみさん	69歳
中原	葉狩	健二さん	78歳
上大内	谷口	久子さん	93歳
山田	浮田	初代さん	92歳
久志谷	中田	節子さん	90歳
篠坂	平尾	保古さん	94歳

（掲載許可をいただいた場合のみ）

認知症予防セミナー

頭の体操を通じて、楽しく認知症の基礎知識・予防改善について知っていただくセミナーです。

受講内容

- 認知症の正しい知識
- 認知症の予防改善に役立つ学習療法
- 脳を活性化させる頭の体操
- 認知症へのそなえ

【日時】10月24日(金)
午前10時～11時30分

【会場】智頭町総合センター

【参加費】無料

【定員】先着30人
(定員になり次第締め切ります)

【主催】鳥取信用金庫
フコクしんらい生命保険株式会社

鳥取信用金庫智頭支店
☎0858-75-0644

まちづくり					
月 (mon)		火 (tue)		水 (wed)	
				1	
				交通安全にみんなで参加する日	
				心配ごと相談 富沢コミュニティセンター 午後1時30分～2時30分	
				おせっかいの日	
6		7		8	
物忘れ相談 ほのぼの 午前9時～11時30分		特設人権相談所 総合センター 午前9時～11時30分		介護者家族の会 ちえの森ちづ図書館 午後1時30分～3時	
		行政相談 土師地区公民館 午前9時～10時30分			
13	スポーツの日	14		15	交通安全にみんなで参加する日
		事業承継相談会 総合センター 午前10時～午後3時		乳児健診 ほのぼの 午後1時～1時15分受付	
		心配ごと相談 ほのぼの 午前10時～11時		1歳6か月児・3歳児健診 ほのぼの 午後1時～1時15分受付	
				心配ごと相談 山形地区公民館 午前10時～11時	
20		21		22	
		行政相談 ちえの森ちづ図書館 午前9時30分～11時30分			
		年金相談会 総合センター 午前10時～午後3時			
27		28		29	

石谷家住宅

10月の展示案内

1号蔵展示室・主屋

古澤順子 染織展「波を織る」

10月25日(土)～12月21日(日)

【ワークショップ】
11月8日(土)・11月9日(日)
両日①午前10時～/②午後1時～

2号蔵展示室

智頭の人第一弾 奥井彩音

「わたしのまなざし」～私が智頭に理由～

10月9日(木)～11月3日(月・祝)

3号蔵展示室

キモトアユミ作品展 水音の蔵・根っこの旅

10月26日(日)まで

【作家様による作品解説】
10月19日(日) 午後1時30分～

木 (thu)		金 (fri)		土 (sat)		日 (sun)	
2		3		4		5	
				第23回来んさい!見んさい! 踊りん祭!! バレード 午後2時～ ステージ 午後3時～		心配ごと相談 山郷地区公民館 午後1時～2時	
				行政相談 ちえの森ちづ図書館 午前9時30分～11時			
				山林無料相談 TAMARIBA 午前10時～正午			
9		10		11		12	
集団健診 総合センター 午前8時30分～10時30分受付		心配ごと相談 いざなぎ交流館 午後1時～2時		・ほのぼのフェスタ ・防災フェスタ ・はたらくのりもの展 ほのぼの 午前10時～午後3時		おはなし会 ちえの森ちづ図書館 午前10時30分～11時	
ほのぼの広場 介護指導室 午後1時30分～3時		あたまイキイキ音読教室 ちえの森ちづ図書館 午前10時30分～11時15分		行政相談 ほのぼのフェスタ相談ブース 午前10時～午後1時			
心配ごと相談 総合センター 午前9時～10時							
16		17		18		19	
				ちづ保育園運動会 午前8時30分～正午		ノーマディアデー 富沢地区運動会	
23		24		25		26	
		おはなし会 ちえの森ちづ図書館 午前10時～10時30分		令和8年度ちづ保育園入園受付 ちづ保育園 正午～午後5時		心配ごと相談 土師地区公民館 午前9時30分～10時30分	
		令和8年度ちづ保育園入園受付 ちづ保育園 午前11時～午後6時				季節のおはなし会 ちえの森ちづ図書館 午前10時30分～11時30分	
30		31					

宝くじ文化公演 紺野美沙子 講演と朗読

「星は見ている」～原爆でわが子を亡くした父母らの手記より～

場所 智頭町立智頭中学校体育館

入場料 宝くじ助成により無料

日付 11月22日(土)

時間 [開場]午後1時30分/[開演]午後2時

定員 先着250人

対象 県内在住者(未就学児の同伴・入場はご遠慮ください)

入場整理券お渡し場所: 智頭町役場企画課・智頭町総合センター・智頭町観光協会・ちえの森ちづ図書館

問合せ 役場企画課 ☎75-4112

あなたに夢を。宝くじ 街に元気を。



*日程は、変更する場合があります。

第28回 五月田かんがえ地蔵まつり



8月23日(土)、那岐地区の五月田集落で「第28回五月田かんがえ地蔵まつり」が開催されました。開始直前に若干の降雨がありましたが、ほどなく雨もあがり、祭がスタート。午後5時30分から極楽寺山門下にある「かんがえ地蔵」の前で法要が営まれ、地元の児童代表による挨拶や御詠歌などが披露されました。会場を囲むように多くの屋台が並ぶなか、よさこいや太鼓などが披露され、フィナーレには名物の花火が盛大に打ち上げられ、祭を締めくくりました。

わずか13軒の集落が主催しているとは思えないほどの盛り上がりを見せるこのイベントはすっかり智頭町の夏の風物詩となっており、今年も会場は多くの来場者で賑わっていました。